

I. 次の文章を読み、設問に答えなさい。

鎌倉時代は仏教が武士や庶民などの、より幅広い階層に広まった時代だった。その始まりは平安時代末期に生まれた法然であろう。元々は (1) (2) で学んでいた法然は、京都や奈良で各宗の教えを学び、念佛さえ唱えればみな極楽浄土へ行けるという専修念佛の教えを説いて (3) (4) の開祖となった。その教えは公卿にも支持され、九条兼実の求めに応じて (3) (4) の教義を説いた『(a)』を著した。しかし旧仏教側の反発により、法然とその弟子たちは流罪となった。

このとき越後に配流された親鸞は法然と同じく (1) (2) で学び、『愚管抄』を著した歴史家としても名高い (5) (6) について得度したといわれる。しかし安心を得られず、後に出会った法然に師事しその弟子となった。赦免後は法然の死を知り京都に戻らず、関東の常陸に赴いて布教した。そして師の教えをさらに進めて、深い煩惱を持つ人こそが阿弥陀仏の救いの対象であるという (7) (8) を主張した。その教えは農民や武士の間に広まり、(ア) 後世には巨大な教団となった。

彼らの系譜に連なるのが一遍である。一遍はすべての人が救われると説き、念佛を書いた札を配り歩く賦算をおこなった。そして念佛を唱えながら鉦・太鼓に合わせて踊る、踊念佛によって日本各地で布教した。そのため彼は (b) とも呼ばれ、この呼称は後継者たちに代々受け継がれていった。一遍を祖とする宗派は (9) (10) と呼ばれる。その衆徒のうち男性は阿弥号を持ち、鎌倉時代末の戦乱では多くの者が陣僧として戦場に同行して戦死者を弔った。そして室町時代になると様々な芸能や技芸で活躍する人々を輩出することとなる。

日蓮は (11) (12) を釈迦の正しい教えとして選び、題目を唱えることで救われると説いた。日蓮は鎌倉を中心に、他宗派を激しく攻撃しながら布教したため、種々の迫害を受けた。また、国難の到来を予言して(イ) 前執権の北条時頼に建白書を提出するなど精力的に活動した。 しかしその主張により鎌倉で迫害され、幕府によって伊豆に流罪とされた。赦免後もその姿勢を変えず、再度捕らわれて佐渡に流された。配流から戻って晩年は (13) (14) に隠棲し、最後まで布教を続けた。

(1) (2) で学んでいた栄西はその教えに満足せず、宋に二度渡って当時広く信仰されていた仏教の一派を学んだ。坐禅によって修行し、悟りを得るという禅宗の教えである。栄西は帰国後 (15) (16) を日本に伝え、将軍 (17) (18) らの帰依を受けて幕府に重んじられた。 (15) (16) では師の禅僧から課題が与えられ、弟子がこれに答える (c) によって悟りに達することを主眼とする。栄西は加持祈祷にも優れて公家や幕府有力者からの帰依を受け、彼らの支持を受けて晩年は京都に (19) (20) を開いた。幕府の重臣たちも (15) (16) に帰依する者が多く、北条時頼は来日した蘭溪道隆を招いて鎌倉に (21) (22) を建立し、時頼の子で当時の執権北条時宗は中国から無学祖元を招いて (23) (24) を建立した。

栄西の弟子に学んで後に宋に渡った道元は、師とは異なる禅の一派を学び、帰国後に日本における (25) (26) の開祖となった。その禅は(ウ) 只管打坐によって悟りの境地を体得しようとするものである。道元は京都や鎌倉で布教に努めたが、後に越前に赴き (27) (28) を開いた。その弟子たちは北陸地方に布教を進めたため、(25) (26) は地方で広く信仰された。

これらの新仏教に対して南都北嶺の旧仏教内部でも反省と革新への気運が高まった。(29) (30) の貞慶や (31) (32) の明恵は、戒律の重要性を説いて新仏教を批判し教団の復興に力を注いだ。

(33) (34) の叡尊は大和を中心に活動し、慈善救済や土木事業をおこなった。その弟子忍性は北条重時に招かれ、鎌倉の (35) (36) を任されてこれを復興させた。また奈良に北山十八間戸を設立し、ハンセン氏病患者の救済活動をおこなった。数々の新仏教の陰に隠れて見落とされがちであるが、旧仏教側も様々な改革をおこなっている。

仏教建築・美術においても新しい傾向が生まれた。鎌倉時代初期にまずおこなわれたのは、源平の争乱により消失した寺院の復興である。重源は (37) (38) 再建の資金や資材を集めるために、各地をまわって寄付を集め、宋の工人（d）の協力を得てその任に当たった。（d）は大仏の铸造や大仏殿再建に参加した。このときに重源が採用したのが大仏様の建築様式で、(37) (38) 南大門がその代表的建築物である。つづいて宋から禅宗様が伝えられた。(23) (24) 舎利殿はその代表的建築物である。また、これら大陸伝来の新様式を従来の様式に取り入れた折衷様も盛んになった。

問1 文中の空欄 (1) (2) ~ (37) (38) に当てはまる最も適切な語句を下記の語群より選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 惡人正機	12 浅間山	13 阿弥陀経	14 永平寺	15 圓覺寺
16 円珍	17 円仁	18 黄檗宗	19 觀無量寿經	20 義淵
21 教行信証	22 久遠寺	23 俱舍宗	24 華嚴宗	25 現世利益
26 建長寺	27 建仁寺	28 興福寺	29 高野山	30 極樂寺
31 金剛峯寺	32 三論宗	33 慈円	34 時宗	35 寿福寺
36 相国寺	37 成実宗	38 成尋	39 净土宗	40 净土真宗
41 成忍	42 勝鬘經	43 仙覚	44 曹洞宗	45 大覺寺
46 知恩院	47 天竜寺	48 東大寺	49 南禪寺	50 比叡山
51 富士山	52 藤原頬經	53 法華經	54 法相宗	55 本願寺
56 本地垂迹	57 末法思想	58 源実朝	59 源頬家	60 源頬朝
61 三輪山	62 文章經國	63 薬師寺	64 維摩經	65 律宗
66 臨濟宗				

問2 文中の（a）～（d）に入る最も適切な語句を解答用紙Bの所定の解答欄に書きなさい。

問3 以下の設問の解答を解答用紙Bの所定の解答欄に漢字で書きなさい。

(1) 下線部（ア）は後に強大な武力を持ち、各地で守護や戦国大名と抗争した。この抗争のことを何というか。

(2) 下線部（イ）の建白書を何というか。

問4 下線部（ウ）とはどのような方法か。15文字以内で説明しなさい。

II. 次の文章を読み、下記の設間に答えなさい。

日本最古の鋳造貨幣である (39) (40) に続いて708年に本格的な流通貨幣が発行されると、それ以来、10世紀半ば頃の (41) (42) 大宝まで日本独自の銭貨が鋳造された。711年には(a)令が定められ銭貨の流通がはかられたが、京・畿内を中心とした地域以外では稻や布などの物品による交易が広くおこなわれており、銭貨の利用は限定的であった。12世紀半ば以降になると、中国から輸入された宋錢が通貨として流通し、鎌倉時代には貨幣経済の発展とともに、銭を貸して高い利息を取る (43) (44) とよばれる金融業者も現れ、その姿は『山王靈験記絵巻』にも描かれている。また、この時期には相互金融の仕組みである (45) (46) も現れた。室町時代に入ると、宋錢に加えて明錢も利用され、(47) (48) 通宝は輸入明錢の中で最も多く使用された。

天下統一を実現した豊臣秀吉は、博多の (49) (50) など重要都市の豪商を統制下におくことで政治・軍事などにその経済力を活用するとともに、(ア) 戦国時代から開発が進んだ鉱山を直轄地とし、金貨の鋳造などにより自らの政権の経済的基盤を強化した。1600年頃になると徳川家康が慶長金銀を金座・銀座で大量につくらせたが、銭貨については江戸時代の初め頃までは明錢などが流通していた。その後、1636年に銭座で (51) (52) 通宝が大量に鋳造され、正貨としての銭貨が全国に広く供給された。こうした金貨・銀貨・銭貨といった三貨は江戸時代の商品流通の発展を支え、三貨の交換の必要性などから (53) (54) の役割が大きくなり、蔵屋敷で蔵物の代金の出納をおこなう (55) (56) を兼ねたり、諸藩の財政に関与したりする者も現れた。なお、有力な (53) (54) としては、摂津伊丹の酒造で財をなした大坂の (57) (58) などが有名である。

17世紀後半になると金・銀の産出量が減少し江戸幕府の財政にも影響が出る中、5代将軍の治世下において金・銀の含有量が少なく品位を下げた貨幣への改鑄がおこなわれた。これにより、幕府は(b)と呼ばれる改鑄益金を獲得し財政は一時的に改善されたが、貨幣価値の下落と物価上昇を引き起こした。その後、6代・7代将軍の側用人であった (59) (60) とともに幕政を担当した新井白石の建議により、品位を元に戻した貨幣が発行され、混乱した貨幣経済の回復が目指された。また、金・銀に代わって銅の採掘が重視され、住友家が経営する伊予の (61) (62) 銅山などが重要な役割を果たした。

(イ) 18世紀前半の8代将軍の時代になると、幕府の財政再建の一環として米の増産が奨励され米価は下落したが、他の物価は下がらなかった。こうした「米価安の諸色高」への対策として、(63) (64) 米市場の公認などに加えて、1736年には品位を下げた (65) (66) 金銀への改鑄が行われた。その後、19世紀に入ると財政の行き詰まりを背景に、幕府は品位の劣った貨幣を大量発行し財政の不足を補った。また、この時期は幕府だけでなく諸藩でも財政再建の課題に直面しており、長州藩では藩士の (67) (68) を中心に改革がおこなわれ、下関に(c)を設置することなどで収益を上げた。また、薩摩藩では、(ウ)琉球王国との貿易から利益を上げるなどして藩財政の再建に成功した。さらに、幕末の開国直後には、国内と海外の金銀比価の違いを原因として大量の金貨が海外に流出したことを受け、幕府は品位を大幅に落とした (69) (70) 小判などを鋳造したが、物価高騰に拍車をかけ庶民の生活を圧迫したため、攘夷運動を激化させる一因となつた。

時代を少し戻すが、田沼時代には、(71) (72) などの定量の計数銀貨が大量鋳造されることで金を中心とする貨幣制度の一元化が試みられたが、それは近代にいたるまで実現しなかった。明治時代に

入ると、1871年に金本位制の実現を目指して (73) (74) 条例が公布され、円・銭・厘を単位とする新通貨が発行された。さらに、1873年に (75) (76) らを中心に第一国立銀行が設立されたが、ただちに兌換制度の確立には至らなかった。1880年代になると、大蔵卿に就任した (77) (78) を中心に不換紙幣の処分が進められるとともに、日本銀行のもとで銀兌換の銀行券が発行され、銀本位の貨幣制度が整った。そして1897年には (d) が制定され、日清戦争で獲得した巨額の賠償金を準備金とした金本位制が確立された。

問1 文中の空欄 (39) (40) ~ (77) (78) に当てはまる最も適切な語句を下記の語群より選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 足尾	12 預所	13 阿仁	14 安政	15 一文銭
16 井上馨	17 石見	18 永楽	19 大隈重信	20 萩原重秀
21 開元	22 会合衆	23 替錢	24 掛屋	25 借上
26 加島屋	27 桂小五郎	28 株仲間	29 為替	30 寛永
31 紀伊国屋	32 享保	33 乾元	34 元文	35 元禄
36 郷倉	37 鴻池	38 洪武	39 国立銀行	40 五代友厚
41 小西隆佐	42 祠堂錢	43 渋沢栄一	44 島井宗室	45 正徳
46 新貨	47 調所広郷	48 宣徳	49 丁銀	50 角倉了以
51 天保	52 問屋	53 問丸	54 堂島	55 土倉
56 南鎌二朱銀	57 日本銀行	58 日本橋	59 平野屋	60 富本錢
61 文政	62 別子	63 牧野成貞	64 松方正義	65 間部詮房
66 豆板銀	67 万延	68 無尽	69 村請制	70 村田清風
71 村田蔵六	72 柳沢吉保	73 淀屋辰五郎	74 両替商	75 和同開珎

問2 文中の空欄 (a) ~ (d) に入る最も適切な語句を解答用紙Bの所定の解答欄に漢字で書きなさい。

問3 以下の設問の解答を解答用紙Bの所定の解答欄に漢字で書きなさい。

- (1) 下線部(ア)について、16世紀前半に神屋寿禎により朝鮮から伝来し、その後の日本銀の産出量を飛躍的に増大させた銀の精錬技術を何というか。
- (2) 下線部(イ)について、18世紀前半に商人の存在意義と営利・商売の正当性を主張し、『都鄙問答』を記した京都の町人は誰か。その人物名を書きなさい。
- (3) 下線部(ウ)について、1429年に三山を統一し琉球王国を建国した人物は誰か。その人物名を書きなさい。

III. 次の文章を読み、下記の設間に答えなさい。

病気のため2か月で退陣した (79) (80) 内閣にかわり、1957年に成立した岸内閣は、「日米新時代」を唱え、日米相互協力及び安全保障条約に調印した。条約批准の採決を強行すると、反対運動が高揚し、予定されていた (81) (82) 大統領の日本（本土）訪問は中止された。条約の発効を見届け、岸内閣は総辞職した。日本経済は復興から経済成長へと舵を切り、1958～61年には「(83) (84) 景気」と呼ばれる好況を経験した。岸内閣の後を受けて所得倍増をスローガンに掲げた (85) (86) 内閣は、貿易や為替・資本の自由化を実現し、経済自由化を推進した。1962年には、人口の大都市への集中を緩和し、地域間格差を是正するために（a）計画を閣議決定した。

日本経済は1955～73年にかけて年平均10%前後の経済成長をとげ、国民の消費生活にも大きな変化が生じた。1965年には (87) (88) の普及率が90%に達し、1930年代のトーキーの公開以来、娯楽の中心であった (89) (90) 産業の衰退をまねいた。高度成長の一方で環境破壊などの様々な社会問題が生み出された。政府は世論の高まりを背景に、1967年に（b）法を制定し、事業者・国・地方自治体の責任を明らかにした。そして、1971年には同法の改正を経て環境庁が発足した。

1965年以降、アメリカがベトナムへの介入を本格化させると、軍事支出の膨張および日本や西ドイツなどによる対米輸出の急増などによってアメリカの国際収支は悪化し、金準備が減少した。(91) (92) 大統領は1971年8月には金とドルとの交換の停止、10%の（c）などを骨子とする新経済政策を発表した。同年末に10カ国蔵相会議が開かれ、(ア)日米の為替相場は1ドル=308円で固定相場制の復活がはかられたが、その後、ドル不安が再燃した。1972年には (91) (92) 大統領が中華人民共和国（中国）を訪問し、1979年に米中の国交は正常化した。なお、日本が日中国交正常化を声明として発表したのは (93) (94) 年のことであった。

第1次石油危機以降、世界経済が停滞する中で、1979年の (95) (96) を機に第2次石油危機が起こった。1978年に発足した (97) (98) 内閣は第2次石油危機に対処し、財政再建を目指したが、1980年に首相が急死した。1980年代に入ると日本は安定成長を続け、対米貿易黒字が激増したため、貿易赤字にならむアメリカからは特に強い非難があった。1981年に発足したアメリカの (99) (100) 政権の時期には、自動車の（d）と農産物の輸入自由化を強く求めてきた。1985年にニューヨークで開かれた (101) (102) では、ドル高の是正がはかられた。この後、急速な円高となり、日本は不況にみまわれた。不況対策の一環として、公共事業の拡大と所得税減税による内需拡大、低金利政策が実施されると、地価や株価の暴騰をともなう好況となった。また、(103) (104) 内閣が発足させた第2次臨時行政調査会の方針を受け、後継の内閣は行財政改革を推進し、1987年に (105) (106) の民営化を実現した。なお、アメリカの貿易赤字は減少せず、日本経済の制度や慣行が輸入を妨げているとして、(107) (108) において対日批判を強めた。

日本経済は1991年に景気の後退が始まった。クウェートに侵攻したイラクに対し、1991年になってアメリカ軍を主力とする多国籍軍が武力制裁を加えるという（e）が起こった。日本は多国籍軍への参加を求められたが、資金援助にとどまつた。1992年、宮沢内閣は、(109) (110) 法を成立させ、自衛隊がカンボジアに派遣された。日米同盟の強化を進めた (111) (112) 内閣は1996年に日米安保体制に

について共同宣言を発表し、翌年、新ガイドラインが策定された。そして、周辺事態安全確保法などの新ガイドライン関連法が (113) (114) 内閣のときに成立した。

現在では、地球環境問題も大きな課題となっている。1997年、温室効果ガスの排出削減の目標を盛り込んだ (115) (116) が採択されたが、のちにアメリカは不支持を表明した。2015年には開発途上国も含めて温室効果ガス排出削減を努力目標とする (117) (118) が採択された。

問1 文中の空欄 (79) (80) ~ (117) (118) に当てはまる最も適切な語句を下記の語群より選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 1950	12 1972	13 1975	14 1978	15 G5
16 G7	17 MSA協定	18 アイゼンハワー		19 池田勇人
20 いざなぎ	21 石井・ランシング協定		22 石橋湛山	
23 イラク復興支援特別措置		24 イラン革命	25 岩戸	26 映画
27 欧州連合条約	28 大平正芳	29 オバマ	30 小渕恵三	31 オリンピック
32 海部俊樹	33 カラーテレビ	34 京都議定書	35 クリントン	36 ケネディ
37 小泉純一郎	38 国連平和維持活動協力		39 コペンハーゲン合意	
40 佐藤栄作	41 サミット	42 白黒テレビ	43 神武	44 鈴木善幸
45 政府開発援助	46 第3次中東戦争		47 第4次中東戦争	48 竹下登
49 田中角栄	50 ダレス	51 デタント	52 テロ対策特別措置	
53 電気洗濯機	54 電気冷蔵庫	55 特需	56 ドッジ	57 トルーマン
58 中曾根康弘	59 ニクソン	60 日米行政協定	61 日米構造協議	62 日米地位協定
63 日本国有鉄道	64 日本専売公社	65 日本電信電話公社		66 橋本龍太郎
67 パリ協定	68 福田赳夫	69 福田康夫	70 ブッシュ(子)	
71 北京議定書	72 三木武夫	73 村山富市	74 モラトリアム	
75 モントリオール議定書		76 ラジオ	77 レーガン	78 レコード

問2 文中の空欄(a)~(e)に入る最も適切な語句を解答用紙Bの所定の解答欄に漢字で書きなさい。

問3 下線部(ア)について、固定為替相場制の復活をはかるために開かれた会議において為替変動幅の拡大などが合意された。この合意にもとづく体制の名前を書きなさい。